

2018年4月11日

日本生命保険相互会社

## 海外ストラテジックベンチャーファンドへの投資について

～当社初の「フィンテック」「保険+α」領域へ特化した海外ベンチャー投資～

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、米国の資産運用子会社であるニッポンライフ・グローバル・インベスターズ・アメリカス・インク（以下「NLGI アメリカス」）が運用する海外ベンチャー投資ファンド「NLI Strategic Venture Investment Fund」（以下「当ファンド」）に、94百万米ドル（約100億円）の投資を行うことを決定しました。

当社は1970年代より海外ベンチャーファンド投資に取り組んでおり、2003年からはNLGIアメリカス等の海外運用拠点を活用し継続的にベンチャーファンド投資を行う等、長年にわたって培ってきたシリコンバレーにおける強いネットワークと運用者選別能力をいかしながら、良好な運用実績を実現してまいりました。

当ファンドは、NLGIアメリカス等のネットワークもいかし、世界的に著名なYコンビネーターといったアクセラレーター(※)にアクセスし、ビッグデータやAI技術の活用等により今後大きな投資機会が見込まれる「フィンテック（保険、アセットマネジメント、資産管理、投資インフラ等）」や、当社が注力している「保険+α（子育て支援、ヘルスケア、高齢社会対応等）」領域への投資を通じ、高い運用利回りの獲得を目指します。

※ 設立間もないベンチャー企業に対して経営指導等を行い、ビジネスを加速させる企業・団体。

当社では、これまでも先端ITの活用を進めてまいりましたが、今年度より新たに「イノベーション開発室」を設置し、AI等の先端技術を事業推進・事業開発に積極的に活用する取組を加速・強化していく方針です。当ファンドでは、高い利回りの確保に加えて、優良なテクノロジーやビジネスを有する企業へのアクセスを通じ、先端IT等の情報収集を積極的に進めてまいります。また、イノベーション開発室と連携をとり、収集した情報の活用・還元に加えて、「フィンテック」や「保険+α」領域の有力ベンチャー企業への戦略的な共同投資、協業、更には新たな商品・サービスの共創を図り、保険契約者への投資収益+αの還元と社会的課題の解決を目指します。

今後も、社会公共性・投資採算性をふまえ、ご契約者利益の一層の拡大に努めるとともに、持続可能な社会の形成に寄与してまいります。

<当ファンドの概要>

名称	NLI Strategic Venture Investment Fund
運用者	ニッポンライフ・グローバル・インベスターズ・アメリカス・インク
期待利回り（IRR）	20%以上
当社投資額	94 百万米ドル（約 100 億円）

<日本生命の取組と SDGs との関係>

2015 年 9 月に国連総会で、持続可能な発展のために世界が共有して取り組む 17 の目標と 169 のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択されました。国連に加盟するすべての国は、全会一致で採択したアジェンダをもとに、2015 年から 2030 年までに、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会等、持続可能な開発のための諸目標を達成すべく力を尽くすことが求められ、SDGs 達成に向けた企業の役割も期待されています。

当社グループは、これまでも SDGs と関連するさまざまな商品・サービスの開発・提供、資産運用等に取り組んでいます。今後も、グローバル社会からの要請も視野に、事業活動を通じて社会的課題の解決に貢献していきます。



<今回の案件と関係の深い SDGs 目標>

**目標 3：すべての人に健康と福祉を**

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

(例)

- ・ 質の高い基礎的な保健サービス、安価な必須医薬品およびワクチンへのアクセス等、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの達成
- ・ 国家・世界規模な健康危険因子の早期警告、危険因子緩和および危険因子管理のための能力を強化



**目標 9：産業と技術革新の基盤をつくろう**

強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進およびイノベーションの推進を図る

(例)

- ・ 安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱なインフラの開発
- ・ イノベーションの促進等を通じた技術能力の向上

